



大森二中だより

令和2年度 大森二中の合言葉「思いやり」

令和3年2月号
大森第二中学校
校長 成清敏治
TEL 3762-6456

スマートフォンとどう付き合いますか？

最近、読んだ本に『スマホ脳』があります。身近な生活に欠かせないスマートフォン、しかし脳科学の世界では物議を醸しています。これから生きていく皆さんに少し気になる話をしておきます。

スマホに依存すると、もの忘れが激しくなり判断力や意欲も低下するようです。スマホから文字や映像などの膨大な情報が絶えず流れ続け、情報処理が追いつかなくなると見られています。「スマホによる脳過労」などと呼ぶ脳神経外科医も現れ、議論が始まっています。脳の情報処理には3つの段階があり、情報を入れる「インプット」、次にぼんやりすることでできる「整理」、そして話すなどの「アウトプット」です。しかし、スマホを使いすぎると、この「情報の整理」が行われないため、脳がまるで「ごみ屋敷」状態になるというのです。スマホが息抜きと考えている人、実は脳の中はそうならないのです。

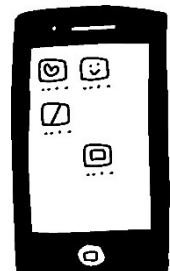
東北大学では、スマホの使用時間が長い子供の脳に発達の遅れが見られると発表しました。一部の自治体では、子供のスマホ規制にも動き出しています。東北大学の研究では、知らず知らずのうちに子供がスマホを使用しすぎると、より深刻な影響を示唆するデータも出ています。

仙台市の中学生の数学の学力と、スマホの利用時間、その関係を調査した結果です。最も点数が高いのは、スマホを「全く使わない」もしくは「1時間未満」という生徒たちです。スマホを使う時間が長ければ長いほど、平均点が低い。それは勉強していないからと思われるかもしれませんが、この調査をした生徒たちの勉強時間は、ほぼ同じでした。

スマホなどでネット等を長時間使う子供たちの脳を調べると、脳全体をつなぐ神経線維の集まり、「白質」の発達が遅れています。これは子供たちの記憶の能力自体にマイナスの影響が出ていると予測されます。東北大学の川島教授は、「極端な話だけど、法律によって18歳まではスマートフォンを1時間以上使ってはいけないと、強制的に制限するほうが、未来にとっては幸せであろうと考えます」と述べています。

皆さんはこれから長く生きていきます。自分の能力を最大限に伸ばしていくためにも、スマホとは上手にお付き合いすることが必要なようです。スマホを使用したい自分の感情と明らかになる悪い影響という科学的な根拠、皆さんはどう向き合っていきますか。

(1月18日 全校朝礼：放送)



立ち止まって、情報確認！

先日興味深いニュースを読みました。それは IOC（国際オリンピック委員会）

のバッハ会長の発言が炎上しているニュースでした。ある新聞の見出しに「IOC会長 どうか辛抱して 日本国民に理解求める」と出ていたことへの批判のようです。もしかしたら、皆さんもその記事を見たかもしれません。今、コロナ感染が増えている時期に、オリンピック開催も危ぶまれているのに、この見出しは、オリンピック開催を日本国民に辛抱してほしいように聞こえます。それが本当なら、怒るのも当たり前です。

しかし、この話には裏があります。ジャーナリストの森田浩之さんがこの発言部分のバッハ会長の英文を読みました。すると、文意を正確に把握してみて、かなりの誤訳があることに気付いたそうです。原文を訳すと・・・

「私たちは新型コロナウイルスの感染対策に関して、あらゆるシナリオを考慮に入れなくてはなりません。(様々に連絡を取り、専門家と接しています) こうしたやりとりから私たちが結論づけられるのは、新型コロナウイルスの多くの感染対策のうちオリンピックの本番で最終的に採用すべきものがどれかを決断するには、まだ時期が早いということです。選手の皆さん、各国の国内五輪委員会、各国際競技連盟、日本の国民の皆さん、組織委員会—すべての方々に理解と忍耐をお願いしなくてはなりません」

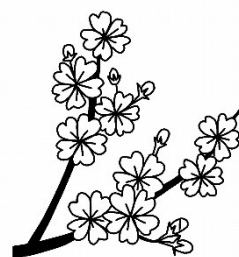
バッハ会長は、コロナ対策を発表できるようになるまでには、まだ時間が必要なので、その点に「ご理解と忍耐」を求めているだけ。日本国民に五輪開催について「辛抱しろ」と突きつけたわけではない。文脈を読み取り正確に訳せば、このような見出しにはならない。

意図的ではないと思いますが、しかしこの新聞の見出しを見て、「日本国民に辛抱してほしい」と言ったと思っている人、そのまま信じ込んでしまった人は、おそらく数万、数十万、もしくは数百万にもものぼると思われまゝ。新聞の見出しで、ちょっとした誤訳で、世の中の見方が左右されてしまう、ある意味、恐ろしいことだと思いました。立ち止まることなく、確認することなく、情報に左右されてしまう。情報のシャワーを浴びている今日、実はこのような誤報(誤った情報)に左右されて、自分を見失ってしまっていることはないでしょうか。できれば立ち止まって、情報を振り返る時間が必要だと痛感します。情報に左右されない自分を確立して、自分の考えで自信をもって前に進んでいきましょう。

(2月8日 全校朝礼：放送)

☆保護者の皆さまへ

○新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が延長になりました。2月の学校行事については、延期や中止にしたものもあります。3月以降は、宣言の内容を精査し、感染予防を徹底して、学校行事等を行おうと考えています。ただし、感染状況等もありますので、学校行事等への参加が心配される時には、保護者の判断で、参加の可否を決めていただいて構いません。ご理解のほど、何とぞよろしく願いいたします。



【今後の学校行事予定 (状況によって変更等あり)】

2月15日(月) 生徒朝礼	3月2日(火) 都立一次発表
2月18日(木) 進路説明会(2年)	地域教育連絡協議会
2月21日(日) 都立一次・前期入試	3月4日(木) 情報モラル講習会(1・3年)
2月24日(水) 学年末考査(~26日)	社会科見学(2年)
3月1日(月) 領域診断テスト(1・2年)	3月5日(金) 社会科見学(1年)